

依ル妻呼寄乃至子供呼寄ヲ後廻シトスルノ方針ヲ採り来リ候結果多クノ場合普通妻呼寄出願数多数ナルタメ写真結婚ニ依ル妻呼寄乃至子供呼寄出願ニ対シテハ殆ド証明発給ノ余裕ナク辛ウジテ制限数ヲ維持シ居ル実情ニ候処普通妻呼寄出願数ノ証明発給制限数ニ充タザル場合其余裕ヲ写真結婚ニ依ル妻呼寄ト子供呼寄トノ何レニ振り充ツ可キヤニ関シ小官ノ見ル所ニ依レバ仮令写真結婚タルニセヨ合法ノ結婚タルニ相違ナク其夫タルモノノ妻ヲ呼寄せントスル事情ハ普通子供呼寄ノ場合ニ於ケルヨリ一層切ナルモノアリ自然ノ順序トシテ前者ニ便宜ヲ与フル方至当ト考ヘ去ル九月二十五日附公第二五二号附属呼寄証明取扱標準第三章第五節ノ通り内定致シタル儀ニ有之候然ルニ貴電第二六号御来示ニ依レバ北米合衆国行キ写真結婚婦人ニ対シテハ明年二月限り旅券発給相成ラザル事ニ御決定ノ趣ニテ右ハ加奈陀行キ写真結婚婦人ノ渡航取扱ニ直接關係ナキ儀ニ候得共写真結婚婦人ノ来加ニ対スル加奈陀側ノ意嚮前述ノ通りナル

折柄近ク米国行キ此種渡航者差止メノ曉加奈陀側ニ於テノミ依然写真結婚婦人ノ渡来ニ制限ヲ加ヘザルニ於テハ或ハ加奈陀側ニ於テモ問題ヲ惹起スルコト無キヲ保セズ候ニ付当方ニ於テハ爾今写真結婚婦人ノ渡航ニ対シテ一層手心ヲ敵ニシ之ヲ「ディスカレッジ」スル方針ニ出ヅル方適當ナラズヤト思考致サレ旁々当館呼寄証明発給数制限ノ実情ニ鑑ミ自今普通妻呼寄証明以外ニ尚証明書発給ノ余裕アル場合ニハ之ヲ子供（成ル可ク幼年子女ヲ先ニス）呼寄証明ニ振向クルコトトシ写真結婚ニ依ル妻呼寄証明ハ出願者ノ事情万止ムヲ得ザルモノノ外之ヲ発給セザル方針ヲ採リ米国側ニ対スル取扱振リ及加奈陀側ノ意嚮ニ順応セシムルコトニ致シ度キ処大体右ノ方針ニテ処理シ可然哉何分ノ義御垂示相仰度此段及請訓候 敬具

本信写送付先 在オタワ総領事

事項一一「ペルー」移民關係雜纂

三四七 一月六日 在智利国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛

秘露国ニ於ケル亜細亜人排斥法案ニ関スル件

附属書 大正七年十月二十二日附田付公使発秘露外相宛
書束訳文

政公信第五号 (三月十日接受)

大正八年一月六日

在智利

特命全權公使 田付 七 太(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

秘露国上院ニ於テ亜細亜人排斥法案提出セラレタル次第ハ在里馬齋藤領事発大正七年九月二十七日付公信第七四号ヲ

(註)

以テ疾ク御了承ノ事ト存候処同公信写ハ同時ニ同領事ヨリ本官ヘモ転送有之依テ本官ハ其当時同領事ニ右法案理由書電照ノ上其回答ヲ待チ同年十月二十二日付ヲ以テ不取敢内信書束ヲ認メ当時ノ秘国外務大臣ツーデラ氏ニ宛テ一応半公信のニ右理由書ニ対シ弁駁ヲ試ムルト同時ニ右法案ニ対スル同大臣ノ私見ヲ相尋ネ置候処其後同大臣ハ其職ヲ辞シ

出デテ米国ノ公使トシテ赴任スル事ト相成候其ガ為力遂ニ

本官書信ニ対スル回答ヲ得ル事不能今後モ右回答ニ接スル事ハ無之事カト被存候然ルニ幸ニモ前記法案ハ昨年ニ於テ秘国通常議會并ニ臨時議會ニモ提出セラルル事ナクシテ止ミタリトノ事ニ有之候尤モ此種ノ法案ハ不幸ニシテ今後共再三其ノ提出ヲ見ルナキヲ保シ難キニ付キ本官ニ於テモ相当注意ヲ怠ラズ候得共前記ツーデラ氏宛本官書信原文及其反訳共為念御参考迄及御送附候間委曲右ニテ御諒承相成候様致度此段報告申進候 敬具

註 日本外交文書大正七年第一冊一七七文書

(附属書)

大正七年十月二十二日附田付公使発秘露外務大臣ツーデラ氏宛書束訳文(註)

近頃接手セシ通信ニヨレバ秘露国議會ヘ亜細亜人排斥法案提出セラレ該法案ノ前文ニハ左ノ如キ理由有之ヤニ聞及候黄色人種トノ結婚ニ伴フ身体美ノ退化ヨリ秘露国民ヲ救護スルノ必要ナル事

并ニ国民ノ困窮ニ陥ルヲ防止シ人口ノ減少ヲ防ク方便トシテ労働者ノ就職ヲ容易ナラシムル事ハ国家ノ義務タル事ニ鑑ミ云々

右ノ如キ討議ガ秘露国議會ニ上リタル次第ハ本使ノ痛ク遺憾トスル所ナルガ右ハ秘露国智識階級ヲ代表スル意見ニハ非ザル儀ト存候

抑モ日秘兩國人間ノ結婚ガ身体美ノ退化ヲ来スト言フ事ハ本使ガ了解ニ苦ム次第ニ有之候從來日秘兩國民間ニ行ハレタル結婚ハ甚タ少数ニシテ今後トモ余リ増加スベシトハ思ハレズ候得共日本人種ノ健強ニシテ勇壯ナルハ歐洲各人種ニ比シ決シテ劣ラサルハ文明諸國ニ於テ既ニ定評アル次第ニ有之候

該法案前文第二項ニ関シテハ本官ガ最近貴國滞在中各耕地ヲ巡回シタル際ニ於テ目撃シタル所ニ徴スルニ労働者ノ欠乏ハ到ル処ニ於テ訴ヘラレ耕地主ハ其ノ土地開發ノ為メ只管労働者ヲ得ルニ汲々タル状態ニ有之候
若シソレ秘露国内ニ人口減少及國民ノ困窮ニ陥ルモノアリトセバコレハ日本移民トハ全ク無干係ナル事情ニ起因スル次第ト存候

秘露国バラモンガ耕地行契約移民及森岡移民
会社間書面契約案承認願出ノ件

(二月一日接受)

今般南米秘露国パラモンガ耕地所有者パラモンガ農業株式会社トノ間ニ契約移民男百四十名夫婦三十組ノ供給契約ヲ締結仕候趣在里馬弊社支店ヨリ来電有之候ニ付弊社ト移民間ニ締結スヘキ書面契約案別紙ノ通り使用仕度候間御承認被成下度関係書類添付此段奉願上候也

追而輸送期間ハ十二ヶ月ノ趣御省ヨリ拝聞仕候尚本契約証書到着ノ上ハ更ニ御届可申上為念茲ニ申上置候也

大正八年一月二十九日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民株式合資会社

社長 浅野 良三

業務代理人 高田 喜三 榎(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

註 右ハ警視庁經由(大正八年一月三十一日發送乙官第一七二号ノ二)ニテ外務省ニ送附越サレタリ尚別紙及関係書類省略ス

前陳ノ次第ニ付日本人ニ関スル限り該法案前文ノ如キハ毫モ其ノ理由ナキモノト被存候

最近貴地滞在中閣下ト数回会见ノ光榮ヲ得タルガ本官ガ之ヨリ得タル印象ニ依リ閣下ガ本問題ニ対シ該法案中ニ見ユル如キ意見ヲ有セラルベシトハ想像セラレサルモ閣下ガ幸ヒ本官ニ対シ公私共ニ表彰セラレタル御好意ニ信頼シ茲ニ隔意ナク前陳ノ次第ヲ披瀝シタルニ付閣下ニ於テモ本官ノ真意ヲ諒トシ本件ニ対スル閣下ノ隔意ナキ御意見ヲ開示セラルルヲ得バ幸甚之ニ不過候云々

註 右ノ原文(西語)省略

三四八 一月二十四日 在里馬齋藤領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

森岡移民会社及秘露バラモンガ耕地間移民供
給契約承認ノ旨報告ノ件

第六号

十二箇月間ニ男百四十、夫婦三十組需給契約森岡「バラモンガ」耕地間ニ成立承認ス、「チクリン」ト条件同様

三四九 一月二十九日 森岡移民会社ヨリ
内田外務大臣宛

三五〇 二月八日 田中通商局長ヨリ
岡警視総監宛

秘露国バラモンガ耕地行契約移民及森岡移民
会社間書面契約案承認指令ノ件

附屬書 書面契約案承認指令

通送第一〇〇七号

客月三十一日付乙官第一七二号ノ二ヲ以テ御達相成候貴管下移民取扱人森岡移民株式合資会社ヨリ提出シタル秘露国パラモンガ耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進候也

(附屬書)

第十三号

書面契約案承認指令

移民取扱人森岡移民株式合資会社

業務代理人 高田 喜三 榎

大正八年一月二十九日付願秘露国パラモンガ耕地行契約移民男百四十名夫婦三十組取扱ニ関スル書面契約案承認願出ノ件

右承認ス但雇主移民取扱人間ノ契約第一条第二項ニ抛ル夫

婦移民ノ携帶幼児ハ義務教育ヲ終了シタル者ニ限ル
大正八年二月八日

外務大臣子爵 内 田 康 哉

三五二 三月十七日 森岡移民会社ヨリ
内田外務大臣宛

秘露国力ニエテ耕地行契約移民及森岡移民会
社間書面契約案承認願出ノ件

(三月十九日接受)

今般南米秘露カニエテ耕地所有者タル英国製糖株式会社
ノ間ニ契約移民男七百五拾名女貳百五拾名ヲ本年五月ヨリ
十一月ニ至ル期間ニ供給契約ヲ締結仕候間弊社ト移民間ニ
締結スヘキ書面契約案別紙ノ通使用仕度候間御承認被成下
度関係書類添付此段奉願候也

大正八年三月十七日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民株式合資会社

業務代理人 高 田 喜 三 槌

外務大臣子爵 内田 康哉殿

註 右ハ警視庁経由(大正八年三月十八日發送乙官第五四一号

ノ二)ニテ外務省ニ送附越サレタリ尚別紙及関係書類ヲ省
略ス

三五二 四月一日 在里馬齋藤領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

秘露国力ニエテ耕地契約ニ関シ賃銀全部耕地
払ハ耕地側ニ大苦痛ナル旨報告ノ件

第一六号

往公信第八号「カニエテ」耕地契約ニ関シ、其後種々取調
ベタル処土人ハ全ク日本人モ一円ト思考シ居リ賃銀全部耕
地払ハ耕地側ニ大苦痛ナル模様ニ付右様御承知ノ上可然御
措置アリタシ

三五三 四月十七日 田中通商局長ヨリ
岡警視総監宛

秘露国力ニエテ耕地行契約移民森岡移民会
社間書面契約案承認指令ノ件

附屬書 書面契約案承認指令

通送第四二三〇号

去月十八日付乙官第五四一号ノ二ヲ以テ御進達相成候貴管
下移民取扱人森岡移民株式合資会社ヨリ提出シタル秘露国

第一五号

近来墨西哥航ノ目的ヲ以テ「ペルー」ヨリ「イキケ」ニ
渡航スル本邦人急ニ増加ノ傾向アリ同港船待滞在中彼等ノ
起居動作甚不体裁不謹慎ヲ極メ其結果智利人ノ悪感ヲ挑発
シ同港ハ勿論智利全体ニ亘リ漸次排日ノ傾向ヲ生ジ在留邦
人ノ迷惑ハ勿論智利ニ於ケル帝国将来ノ利益ノ為甚ダ憂慮
ニ堪ヘザルモノアリ彼等ノ「イキケ」ニ来航ハ同港ガ乗船
ニ利便多キガ故ナル由ニ付「イキケ」帝國名譽領事ヘハ右
取締方ニ関シ注意ヲ与ヘ置キタレドモ畢竟其出发点ニ溯リ
テ其渡航ヲ防止セザレバ充分ノ効果ヲ得難キニ付「ペルー」
汽船会社ハ勿論在「ペルー」汽船会社代理店ヲシテ在里馬
領事ノ証明ヲ有セザル邦人ニハ当分智利行切符ヲ発売セザ
ル様交渉方同領事ニ御訓令アル様致シ度シ

註 右電報全文ハ五月六日内田外務大臣発田付公使宛電報第一
〇号ヲ以テ在里馬領事ニ転電セシメラレタリ

三五五 五月六日 内田外務大臣ヨリ
在リマ齋藤領事宛(電報)

本邦移民ノ智利立寄ヲ防止スベキ手段ヲ講ズ
ル様訓令ノ件

カニエテ耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願ニ対シ
別紙ノ通詮議相成候ニ付右申請者ニ御交付相成度此段申進
候也
(附屬書)
第三三三号

書面契約案承認指令

移民取扱人森岡移民株式合資会社

業務代理人 高 田 喜 三 槌

大正八年三月十七日付願秘露国力ニエテ耕地行契約移民男
七百五拾名女貳百五拾名取扱ニ関スル書面契約案承認願出
ノ件

右承認ス

大正八年四月十七日

外務大臣子爵 内 田 康 哉

三五四 四月二十八日 在智利国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

秘露ヨリ墨国ヘ航航ノ途次智利ニ立寄ノ日本
人ノ動作智利人ノ鬱鬱ヲ買ヒ居ルニ付其対策
稟請ノ件

第一四号

在智利公使発本大臣宛電信第一五号ニ関シ貴官ハ在智利公使ト連絡ヲ保チ同公使稟申ノ主旨ニ依リ本邦移民ノ智利立寄ヲ防止スル為適當ノ手段ヲ講シ悪影響ヲ未然ニ防ク様御配慮アリタシ右在智公使ヘ転電アレ

三五六 五月十五日 在里馬齋藤領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

墨国行日本人ノ智利立寄防止策ニ付意見具申

ノ件

第二一号

(五月十八日接受)

貴電第一四号ニ関シ

智利渡航者ニ関シテハ当館ノ夙ニ苦慮セルトコロナルモ良案ナク今日ニ及ベリ田付公使ノ提案タル当館証明ナキモノニ各汽船会社ノ切符不売ノ儀ハ当館トシテハ我東洋汽船会社ニ対シテモ其実行甚ダ覺束ナキニ外国汽船ヲシテ首肯セシメム事本官ノ期スル能ハザル所ナリ尤モ米國領事ノ共助ヲ得墨国行船客ニ対応セルガ如ク若シ智利領事又ハ代理者ノ共助ヲ求メ得バ其実行困難ナラザルベシト雖モ我ヨリ進ンデ斯ル要求ヲナサム事蓋我政府ノ好マルルトコロニ非ザ

ルベシ從テ私見トシテハ当国ニ於ケルガ如ク智利ニ於テモ本邦公使館ノ証明ナキ限り東洋汽船会社ニ於テ墨国行日本人船客ニ対シ切符ヲ発売セザル事トシ公使館ニ於テ本人ノ履歴明カナルモノノ外調査ニ名ヲ藉リ登録後相当期日(四ヶ月乃至半歳)經過後始メテ証明書ヲ下附スル事トセバ轉墨者ノ一時智利渡航ノ数ヲ減ズルナラムト信ズ御参考迄ニ申進ズ

公使ヘ転電済

三五七 五月二十三日 在智利国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

秘露ヨリ墨国ニ転航スル日本人ニ対シ智利ヨリノ東洋汽船切符発売中止ノ処置ヲ執リタル旨並今後ノ防止策ニ付建言ノ件

第一九号

(五月二十五日接受)

往電第一五号ニ関シ

転墨ノ目的ヲ以テ秘露ヨリ「イキケ」港ニ来航スルモノハ多ク外国船ニ便乗スル次第ナルガ其後取調ノ結果同港ヨリ墨国ヘ転航スルモノノ大多数ハ東洋汽船会社便船ニ乗船シ外国船ニ依ルモノハ目下ノ処割合ニ少数ナル趣ニ付今回同

会社智利駐在員太田ト協議ノ上在里馬領事發電第二一号ノ趣旨ヲ参酌シテ今後当館ノ証明無キモノニシテ智利ヨリ墨

国ニ渡航セントスル者ニ対シテハ一切乗船切符ヲ発売セシメザルコトトセリ尤モ右ノ結果帆船ニ便乗「ココン」經由転墨ノ目的ヲ以テ同港ヘ来航スルモノノ数増加シ其ノ結果ハ今日ト大差無キニ至ルヤモ計リ難ク其ノ場合ニハ前電申請ノ方法ニ依ルカ又ハ秘露及智利ノ各港ニ渡来スルモノニ対シテノミ之ヲ取締ル為メ在秘露智利領事又ハ之ニ代ルベキモノノ共助ヲ求ムル外良法無カルベキモ此ノ場合ニハ勢智利政府ヘ当方ヨリ依頼スルノ必要アリテ余リ好マシカラザル様存ゼラル、モ右ハ我政府ノ御詮議次第ニ依ルコトト存ゼラル

在里馬領事ヘ転電済ミ

三五八 六月九日 在智利国田付公使ヨリ
内田外務大臣宛

秘露国ニ於ケル亜細亜人排斥法案ニ關聯シ同

国外務次官ヨリノ来信報告ノ件

附屬書 五月九日付秘露国外務次官ヨリ田付公使宛書翰

訳文

政機密第一〇号 (七月廿九日接受)

大正八年六月九日

在智利

特命全權公使 田付 七 太(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

秘露ニ於ル亜細亜人排斥法案ニ対スル秘国前外務大臣宛本使半公信ニ関シ本年一月六日政公第五号信ヲ以テ報告致置候次第有之候処右ニ関シ今回国外務次官「エルゲラ」氏ハ前外務大臣「ツデラ」氏ノ依頼ニ基キ別添原文^(註)ヲ通リ回答致シ来リ候ニ付同訳文相添御参考迄此段御追報申進候 敬具

追伸別信中「ツデラ」氏ヨリ或ハ既ニ返信アリタルヤモ知ラズト有之候モ同氏ヨリハ遂ニ今日迄直接回答ニ接セズ候為念申添候

本信転報先在里馬 齋藤領事

註 原文省略

(附屬書)

(訳文)

一九一九年五月九日

在サンチアゴ

セサル、エルゲラ

日本特命全權公使 田付 七太閣下

拝啓過日ハ御惠贈ノ尊書ニ接シ銘肝ニ不堪併セテ閣下及御全家ノ御多幸ヲ祝福致候

現華盛頓駐劄大使「ドクトールツデラ」氏ガ里馬出発以前其接受通信中ニ客年十月二十二日付貴信有之タル処右ニ対シ同氏ニ於テ今日マデ御返事ヲ怠リ居タルニ心付キ右御返事ノ遅延セシ理由ハ御来示関係事件ニ関連セル法律案ニ関シ取調ヲ要シタルト當時氏ガ出発ニ際シ彼は取込ミ居タル等ノ事情ノ為メ遂ニ今日迄遷延セシヲ以テ其辺ノ事情詳細説明方同氏ヨリ疾クニ依頼ヲ相受居候次第ナルガ今日トナリテハ或ハ同氏ヨリ既ニ閣下ニ向テ回答済カトモ存候右御来翰中所載ノ事件ニ関シ「ドクトールツデラ」氏ノ考フル処ハ小生ニ於テ推定シ得ザル次第ニ候得共同件ニ関スル小生ノ私見ヲ左ニ開陳致候

第一小生ハ貴国ニ対シテハ同情ト同好ノ意トヲ有スル者ニ有之コレハ単ニ感情ノ問題ノミニハ無之感情ニ加フルニ殊ニ深慮ノ賜ト存候抑モ生ノ胸中ニハ日本ニ対スル同情テフ

物件タラシムル伶俐且ツ熟練セル技能者ヲ有セサレハ其富源モ亦何等ノ用ヲナサズ富源ハ之ヲ採取シテ之ヲ輸出シタルノミニテハ一国ノ真個タル進歩ヲ構成スル不能富源ハ之ヲ採取シ之ヲ変形シツツ之ヲ使用シ然ル上其過剰ヲ輸出スル事ニ於テ初メテ一国ノ富ト其ノ社会ノ幸福トヲ来スベキ次第ナリト存候

抑モ国民関係ノ増進ハ規則法律類ヲ以テ之ヲ奨励又ハ防止シ得ザルモノニシテ若シ国民ノ国際関係ガ通商ニ依リテ益々堅牢ニ赴クベキモノトスレバ現ニ吾人ハ益々密接ノ関係ヲ増進シツツアル次第ト被存候貴我通商貿易ハ年々増大トナリ一九一七年ニ於テハ輸出入ヲ合セテ二百万ソルノ額ニ達セントスルニ至リタル次第ニ有之候右開陳シ来リタル愚見ハ本信冒頭ニ於テ述べタル通り生ノ考案ト感情ノ一部ヲ表章シタルモノニシテ小生ノ所望ハ日秘間ノ接近ニ向テ充分努力シ之ガ実現ヲ計ル事ニ有之候

茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候且何ナリトモ御用向ノ節ハ可然御指図有之様致度候

終リニ臨ミ閣下ノ友人ト呼ブノ自由ヲ有シ候

敬具

念ト日本秘露関係ノ密接ヲ必要トスル感トハ其孰レカ先ニ浮ビ来ルモノナルヤ自分乍ラ之ガ判断ニ苦ム次第ニ御座候兎ニ角小生ハ右両ツノ念ニ囚ハレ居ルモノニシテ必要ノ場合ニハ力ノ及ブ限り日秘親交ノ為メニ努力セン事ヲ期スルモノニ有之候

貴我両国通商関係増進ノ必要ハ小生ニ於テモ素ヨリ之ヲ認メ居ル次第ニシテ本件ニ就テハ相当愚見ヲ有シ居リ之ヲ公表センカ一論文ノ材料トシテモ随分浩瀚ニ亘ル位ナルガ必要ノ時機到来セバ公然当地ニ於テ之ヲ発表スル事ヲ憚ラザル次第ニ有之候

秘露ガ日本及日本人ヨリ得ベキ利益及太平洋東西両国ノ親密ナル関係ガ亜米利加大陸ノ勢力權衡上ニ至大ナル影響ヲ及ボスベシト言フ事ニハ論及スル事ナク単ニ小生ハ秘露国見地ヨリ日秘関係ヲ論ズルモ吾秘露国ニ於ケル彼等日本人ノ生活狀態ト彼等ノ模範トスルニ足ル事トヲ知レバ日本人入国ノ利益ハ自ラ明瞭スベキ事ト存候

当国ノ興業上ニ彼等カ協力シツツアル有様モ亦興味アル問題タルヲ失ハズ候秘露国ノ土中ニ包蔵セラルル富源ヲ地上ニ出シタルノミニテ若シ之ヲ変ジテ吾人ノ需要ヲ満足スル

三五九 七月二十五日

在里馬 森岡移民会社及秘露力サ、グラnde耕地間ニ

森岡移民会社及秘露力サ、グラnde耕地間ニ
締結セラレタル移民需給契約承認ノ件

公第五六号

(九月十三日接受)

大正八年七月二十五日

在里馬

領事 斎 藤 和(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

カサ、グラnde耕地ハ從來独商 Gildemeister & Co. ノ専ラ経営セル所ニ属シ Roma 耕地ト対立シ Chicama 河孟ニ於ケル最も有力ナル耕地ナリシガ更ニ Sansal 耕地ヲ併合シ且当耕地ニ最近接セル Malabrigo 港ニ吞吐口ヲ修築シ鐵路ヲ以テ之ト聯結ヲ通シ從來官線ニ依リテ Salaverry 港ヲ經テ貨物ノ出入ヲ為シ居リタルモノモ今ヤ自家ノ線路ト港口トニ依リ直接海路他ト交通シ得ルノ便ヲ新ニ開始シ常時雇傭ノ労働者数又数千ノ多キニ達シ農場ノ管理経営ノ如キモ独人ノ掌裡ニ存スルコトトテ頗ル整頓シ居ルヤニ伝承シ当国数多蔗園中ニアリテモ之ト比肩スルモノ稀ナル大

農場ニシテ当耕地ニ本邦人雇傭ノ端ヲ開キ候トキハ之ガ捌キ口トシテ将来好箇ノ得意場タルベシト思料セラレ森岡移民会社ニ於テモ予テ同耕地ニ嘱目シ居リ又耕地側ニ於テモ本邦人労働者ノ入耕ヲ希望シ是ガ供給方ヲ先ニ申込来リ内森岡ヨリ当館ノ意向ヲ問合セ候事モ有之候得共敵国人經營ノ農場ナルヲ以テ当館ニ於テ恁ル契約ノ締結ヲ希望セサルコト並ニ縱令其成立ヲ見ルモ到底之ヲ承認スル能ハサルコトヲ明カニセルカ為メ之ヲ見合セ其儘ニ推移シ来リタリシガ對敵商取引禁止令ノ廢止ヲ期トシ逸早ク未タ媾和条約ノ調印ヲ終ヘサルニ先チ兩者間ニ一年内ニ一千名ノ労働者需給契約ヲ締結シ其調印ヲ見ルニ至リ候而シテ同耕地ガ特ニ将来本邦労働者需用口トシテ好花客タルベキハ上述ノ如シト雖モ實際之ヲ經驗シタルコトナキ所ニ向ケケルニ有望ナリトノ故ヲ以テ当初ヨリ余リ大口ノ供給ヲ請負ヒ候ハ危險ニシテ万一耕地移民間ニ紛紜等出来シ其処分ニ窮スルガ如キコトナシトモ斷シ難ク加フルニ東洋汽船会社ノ定期船ノミヲ以テシテハ一年ノ輸送力二千五百名内外（一船平均四百名見當トシテ算出ス）ニ止レルニ明年一月以降供給ノ分ニテ既ニ当館ノ承認シタルモノ、「サン、ハシント」ノ六百

名、「ウァウラ」ノ六十名、「カルターヴィヤ」ノ百二十五名アリ又出願中ノモノニ「カニエーテ」耕地ヨリノ六百名ヲ存シ賃銀ノ一部里馬松ノ件ニ関シ押問答中ナルモ近ク当方ノ要求通り之ガ廢止ノ目的ヲ貫徹シ得ベキ希望アリ其曉ニハ之ヲモ承認スヘキ予定ニシテ本契約數一千名ヲ加フルトキハ二千三百八十五名ノ大數ニ升リ之ニ今後必ス申出アルベシト予想セラルル「サン、ニコラス」「チクリン」等ノ定得意口ヲ加フルトキハ著敷前記輸送能力ニ超越シ確實ニ其契約ヲ履行スルコト能ハサルノ虞ナキニ非ズ尤モ「サン、ハシント」ト云ヒ本契約ト云ヒ年内ニ全數ヲ供給シ能ハサルトキハ別紙甲号ニ依リテ見ルニ殘余ノ分引渡期日ヲ延期スルコトニ関シ耕地ト移民会社間ニ互ニ領解ヲ有シ居ル（書中ノ行文ヨリ云ヘバ遲延ノ責任迄ヲ解除スルモノニ非ザレトモ）次第ニハ有之候得共何レニシテモ当初ノ試ミトシテハ余リニ大口ニ失スルヤニ被覺候ニ付今回ハ先其半數ヲ限り承認シ殘余ハ当初半年間ノ成績ヲ見然ル後ニ之ヲ取捨スルコトノ理念ヲ与ヘ本日右ノ半數丈ニ對シ承認ヲ与ヘ置候条左様御了承相成度候

条件ハ本年二月四日当館ニ於テ承認致候チクリン耕地契約

ノ分ニ比シ左ノ二点ヲ異ニスルノミニ候

第一、契約員數

男独身者六百名、夫婦式百組ノ半數

第二、第五條末ニ法律第千三百七十八條ニ依リノ辞句ヲ加

ヘタルコト

（同法ハ千九百十六年十月廿日發布ノ労働傷害法ヲ指スモノニシテ農場ニアリテハ機械ノ危險ニ曝露セラルル者ニ對シテノミ其適用ヲ見ルモノナリ）

尚又労働時間ハ從來ノ儘ニシテ未ダ改正ヲ見ズ森岡移民会社ヲシテ交渉セシメタル処本件ニ関シテハ如何ナル障害ヲ醸スコトナシト敢言スル能ハザルガ故ニ恁ル事件ノ發生シタル場合ニ其機会ヲ以テ処理スベキ旨曖昧ナル解答ヲ附与致居リ候右ニ関シテハ当館發公第四十八号信御参照有之度候右申進候 敬具

追テ本新耕地ノ移民監督者ノ選任ニ関シテハ最モ人選ヲ重スベキ旨当地森岡移民会社支店支配人ニ注意ヲ加ヘ置キ候得共本省ニ於テ移民募集方御許可ノ際本社ニ對シ同様ノ勸告ヲ与ヘ都合ニ依リテハ本邦ヨリ相當ノ人物ヲ派遣致候様御伝達相成候様此段添ヘテ申進候也

註 添附書類ヲ省略ス

七月二十三日齋藤領事發公第四八号ハ「ウァウラ」中央製糖工場ト森岡移民株式合資会社間ニ成立セル移民需給契約承認ノ件ナリ省略セリ

三六〇 十月二十二日

新妻大分県知事ヨリ
内田外務大臣宛

秘露国行契約移民森岡移民会社間書面契約認

可ノ件

保第九〇〇九号

（十月二十五日接受）

移民取扱人森岡移民株式合資会社ヨリ同社ノ募集ニ係ル南米秘露国行契約移民本県人穗坂英夫トノ書面契約認可出願ニ付調査候処不都合無之ニ付本月二十日附本号ヲ以テ認可候条此段及報告候也

大正八年十月二十二日

大分県知事 新妻駒五郎（印）

外務大臣子爵 内田 康哉殿

三六一 十月二十九日

田中通商局長ヨリ
岡警視總監宛

森岡移民会社ヨリ提出ノ秘露国行契約移民ノ書

面契約案承認願ニ関スル件

通三第一一二九五号

十月四日付乙官第一七五八号ノ二ヲ以テ森岡移民株式合資会社ヨリ提出ノ別紙秘露国「ウァウラ」中央製糖工場行契約移民ニ対スル書面契約案承認願書進達相成候処右契約書案中第四条、第五条、第六条、第十四条及第十六条等ノ耕地医師、耕地支配人、耕地、分耕地、農具等ノ文字ハ孰レモ事実ニ適合スル様相当訂正ノ上更ニ提出スヘキ旨出願者ヘ指示方可然御取計相成度別紙書類一応返付此段申進候也

三六二 十二月二日 浅野森岡移民会社社長ヨリ
内田外務大臣宛

秘露国カサ、グランデ耕地日本人移民監督ノ
適任者選定方ニ關スル件

上申書

秘露国カサ、グランデ耕地日本人移民監督ノ

件

右ニ關シテ而御内達有之候ニ付詮議ノ上適任者ノ人選ニ相努メ任命ノ際更ニ上申可仕候得共万全ナル人物ノ選定ニハ相当日時モ相要シ候ニ付其ノ間目下秘露国在住ノ既任監督ノ中ヨリ適任ト認ムル者ヲ在秘露国領事殿ト御協議ノ上選

三六四 十二月十三日 森岡移民会社ヨリ
岡警視總監宛

秘露国カサ、グランデ耕地行契約移民募集地

方別予定届出ノ件

弊会社取扱秘露国カサ、グランデ耕地行契約移民男六百名夫婦式百名ノ半数ニ対シ別記募集地方別予定表ノ通り募集仕度候間此段及御届候也

大正八年十二月十三日

東京市京橋区西紺屋町拾番地

森岡移民株式合資会社

任仕様致シ度此段上申候也

大正八年十二月二日

東京市京橋区西紺屋町拾番地

森岡移民株式合資会社

社長 浅野良 三(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

三六三 十二月五日 内田外務大臣ヨリ
在里馬齋藤領事宛

秘露国カサ、グランデ耕地行日本契約移民監督者ニ關スル件

通三送第六四号

本年七月二十五日付公第五六号ヲ以テ森岡移民株式合資会社取扱カサ、グランデ耕地行契約移民男三百名夫婦百組供給契約ノ件ニ關シ御申越ノ趣了承右貴信追書御申越ノ移民監督者ノ件ニ關シテハ特ニ同社ニ注意致候処同社ヨリ別紙上申書写ノ通申出候間右ニ依リ措置セシムルコトシ本日右ニ關スル書面契約案ニ対シ承認ヲ与ヘ置候条右様御了知ノ上可然御取計相成度此段申進候也

註 別紙上申書前掲ニ付省略

社長 浅野良 三(印)

警視總監 岡 喜七郎殿

(別記)

募集地方別予定表

沖繩県 夫婦五拾組 男百五拾名

未定 // 五拾組 // 百五拾名

合計 // 百組 // 參 百名

(以上)